

The Newsletter of International College of Dentists JAPAN Section



2025年3月31日

vol.15 Issue 1

ご挨拶



フェローの皆様、日頃より国際歯科学士会日本部会の活動へのご理解とご協力を誠にありがとうございます。本会の70余年の歴史は、素晴らしい先人達によって受け継がれてきました。なかでも、三大事業は最も重要な行事に位置付けられます。

2025年度の「総会・認証式」は、6月7日(土)にホテルメトロポリタンエドモントにて、また「年末集会」は、12月20日(土)に帝国ホテル東京で開催されることが既に決まっております。担当委員会が準備を鋭意進めているところです。

また、本会が主催する諸事業の参加に関して、定款第9条に「当法人の事業に参加する」旨の規定が「フェローの義務」として謳われています。さらに、第12条には「2年以上会費未納の者」と「総会および諸行事に理由なく2年以上欠席した者」は、「理事会に諮り退会させることができる」と定めてあります。

コンプライアンスを認証式で誓約したフェローの皆様、本会の輝かしい伝統を継続するためにも、前述した日程の確保を最優先でお願いいたします。

(一社)ICD日本部会 会長 富士谷 盛興



歴代会長のことば



2020年、年頭より新型コロナウイルス感染症が世界中でパンデミックを起こすようになり、感染予防の観点から生活様式は一変致しました。

さて国際歯科学士会は2020年に百周年を迎え、千田彰先生は国際会長として盛大に記念式典を名古屋の地で開催を決定しましたが、感染症の世界的拡大を考慮し中止と致しました。

日本部会も総会等はオンライン配信、リモート会議など対策を講じながら山を越えてまいりました。時は過ぎ2023年5月8日より季節性インフルエンザなど同じ感染症に規定される「5類感染症」に移行し一応のところコロナ禍に終わりを告げました。

日本部会のフェローの皆様、これからも基本理念を大事に、しかも時代の変化に対応しながら新しいページに向かって前進して参りましょう。

第31代会長 隅田 百登子

2025年度 三大事業 開催予定

第68回総会・認証式

2025年6月7日(土)
ホテルメトロポリタン
エドモント

年末集会

2025年12月20日(土)
帝国ホテル(東京)

皆様のご参加をお待ちしております

2024年度 年末集会 報告

2024年12月21日(土)、帝国ホテルにて年末集会在開催されました。

昨年最後と言われていた光の間ですが、幸運にも帝国ホテルの改装が延期となったことで本年度も光の間で開催が可能となりました。今度こそ最後ということもあり、多数の方にご出席いただきました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

本年度からは懇親会の中で特別講演を行うという新しいスタイルで、フリーアナウンサー笠井信輔氏にご登壇いただき、『足し算で生きる ～がんステージ4からの生還～』と題して、貴重なご講演をいただきました。とても感動する内容であった上、今後の生き方に非常に示唆に富むお話でした。ありがとうございました。



笠井信輔氏による特別講演

懇親会では2024年度ニューフェローの紹介など、楽しいひと時となりました。本年度は入会者も増え、例年と変わらないの盛大な会となりました。本年も2024年を締めくくる良い年末集会であったと思っていただければ幸いです。多くの会員の皆様のご参加に心より感謝申し上げます。

物価高騰の折、年末集会の開催に関しましては会費維持での開催が非常に難しくなっております。今回は北村事務局長補佐の機転によりこれまで通りの会費で開催することができました。年末集会を帝国ホテルで開催するという事は、本会の伝統であり今後も継続していきたいと考えております。来年度は富士の間での開催を予定しており、皆さまに満足のいただけるような企画を委員一同考えております。引き続き楽しい会にしていくためにも会員増強は喫緊の課題です。そのためには皆様のご協力が必要です。ICDの仲間をたくさん増やしましょう！

引き続き、会員の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

事業運営(年末集会担当)委員会
委員長 常盤 肇

冬期学会

2025年3月2日(日)に日本大学歯学部創設百周年記念講堂にて第55回冬期学会が対面にて開催されました。本会のテーマは「歯科医療の現状と課題～これからの歯科医療に求められるもの～」とし、押村憲昭先生、中原維浩先生、武内博朗先生、赤司征大先生、宮崎隆先生の5名の著名な先生方にご登壇いただき、臨床・経営ならびに学生教育とさまざまな観点からアプローチし、今後の歯科界の進むべき道を提唱していただきました。さらに留学生シンポジウムを冬期学会にて初開催し、「2023～2024年の東京科学大学での留学生生活についての回顧録」と題し、Baek Sang Ho先生に

ご発表いただきました。講演後の全体討論では時間が足りないほどの活発な討論がなされました。また当日は株式会社ジーシー、株式会社メイフラワーの協賛展示もしていただきました。

来年度に向け課題もみえてきましたので、多くの先生方が参加し満足していただけるよう委員一同精進してまいりたいと思います。次期大会には多くの先生方のご参加をお待ちしております。

事業運営(冬期学会担当)委員会 委員長 岸本 崇史



講演Iの押村フェロー



Baek Sang Ho先生による留学生シンポジウム



全体討論

◎ 改革推進委員会

改革推進委員会は定款並びに規約、さらには諸問題に関して、執行部から諮問された事項を協議・検討し、答申しています。今期は内田耕司常任理事、安達一典理事、和久本雅彦副委員長、麻生幸男委員、照山裕子委員、阿部健一郎委員、北田真紀委員、原元信貴委員、竹島明道委員、小林健一郎委員、岩崎克彦委員、添島正和委員、林智子委員、そして私の14名構成です。

現在は、ICD日本部会の社会的知名度の向上と社会奉仕活動活性化のため、ICDアワード（学生対象）及びICD特別賞を実施するための協議を重ねております。ICDアワードの表彰は、学生の所属大学にて学位授与式に併せて催されます。第4回ICDアワード表彰の内、2025年3月25日開催の東北大学歯学部歯学研究科学

士伝達式では、富士谷会長がプレゼンターとしてご登壇なされました。これは、本賞設立以来初めてのことで、富士谷会長には本会の知名度向上にご貢献頂きました。

第5回ICD特別賞表彰式は、本年6月の総会・認証式に併せて行われる予定です。

また、会員の皆様のご協力を賜りました2024年実施アンケートの結果から、今後の活動指針などについても協議を重ねております。アンケートの結果は、2025年の本会雑誌で公表予定です。ご協力有り難うございました。

改革推進委員会 委員長 中村 朋美

◎ 広報・編集委員会

広報・編集委員会は昨年より担当委員が一新されました。従来通り部会本部から今村嘉宣常任理事、飯島裕之理事等出席のもと、ICD日本部会雑誌の発刊、HP、Facebookの管理・運営を行なっています。9月には「国際歯科学士会日本部会雑誌第55巻1号」を発刊しました。巻頭言で第32代日本部会会長鏡宣昭先生、さらに新会長の富士谷盛興先生にご挨拶をいただきました。特別企画では「デジタル化に伴うメタルフリーを考える」をテーマにこの分野で著名な7名の先生に寄稿をいただきました。そのほかにも第3回ICD

特別賞受賞者、ICDアワード受賞者の寄稿、総会・認証式および年末集会での特別講演を担当した堀江正彦先生、高橋英登先生、第54回冬期学会講演者からの寄稿もいただき、充実した内容のものになりました。次巻の56巻1号でも、さらに充実をはかる予定です。フェローの皆様には、論文に限らずエッセイや趣味紹介などの多くの投稿をいただきますよう期待しております。どうぞよろしくお願い致します。

広報・編集委員会 委員長 柴原 孝彦

◎ 国際交流委員会

国際交流委員会事業の主な柱は、①姉妹提携を結んでいる韓国部会と台湾部会からの来賓客に対するおもてなし、②韓国部会認証式への参加と交流、③台湾部会認証式への参加と交流、④冬期学会での留学生による発表会、⑤その他の地域部会（フィリピン部会等）との交流となっています。

2024年度の日本部会認証式には、久しぶりに多くの海外来賓が参加され、韓国部会からはLee Jae Cheoun

会長、Chang Ho-Youl前国際会長ご夫妻、Oh Choong Won事務局長、Kim Jae Yoon国際理事ご家族、台湾部会からはYueh-Chao Yang 会長、Ying Kwei Tseng前会長、Hsin-Cheng Liu 国際理事、Kenny Lee事務局長が参加されました。また、日大歯科病院の視察やモリタショウルームやCiメディカルショウルーム見学を行いました。

2024年5月と12月にはソウル市で韓国部会認証式、



フィリピン部会認証式



韓国部会認証式（冬期）



台湾部会認証式（前夜祭）

松本 勝利 フェロー

- ①小峰 一雄、前島 健吾
- ②広島県
- ③明海大学／補綴・保存修復
- ④ゴルフ
- ⑤日本の歯科医療の技術評価が適正に行われるような環境作りを組織的に行って頂ける団体となって欲しい。



若尾 樹 フェロー

- ①中村 勝文、富士谷 盛興
- ②静岡県
- ③明海大学／口腔外科・有病者歯科
- ④PC・写真・旅行
- ⑤この度、歴史と伝統ある国際歯科学士会に入会させていただきましたこと、光栄の至に存じます。入会にあたりご推薦を賜りました中村勝文先生ならびに富士谷盛興先生には心から感謝申し上げます。ICDを通じて本邦の歯科医療水準の向上に少しでも寄与できるよう研鑽を積んできたいと存じます。諸先生方には何卒ご指導・ご鞭撻いただければ幸いです。



第4回ICD特別賞表彰式 報告

2024年6月1日(土)第67回総会・認証式の中で、第4回ICD特別賞表彰式が開催されました。

ICD特別賞とは、歯科医学・医療を通じて国際的貢

献などを行なった歯科医師を表彰するもので、国際歯科学士会に相応しい表彰制度であり、第4回は小林菊生マスター(台湾部会や韓国部会との交流等)、小峰一雄フェロー(アジア各地でのボランティア活動等)、橋本光二フェロー(国際理事並びに留学生支援活動等)が受賞されました。

アジア地域の歯科医療従事者の交流等が評価され受賞された3名の先生方に、改めて敬意を表したいと思います。また、ご協賛いただいた企業(ジーシー、デンツプライシロナ、モリタ)の皆様にも、心より御礼申し上げます。

改革推進委員会 委員長 中村 朋美



第4回ICD特別賞 受賞者と協賛企業

第5回錦齢会 報告

2024年10月13日(日)に第5回錦齢会がダイヤモンドホテル(半蔵門)の中華料理「金剛飯店」で開催されました。

開会の辞が前島健吾事務局長より行われ、富士谷盛興会長のご挨拶を賜り、堀口裕司会員支援委員会常任理事による錦齢会の趣旨の説明を頂き、齋藤 毅マスターによる乾杯を賜り、会がスタートしました。

錦齢会は、現役のフェローが普段なかなか接することが出来ない終身フェローの先生方とお話しをさせていただく機会を持つために8年前より始まりました。新型コロナウイルスの影響で開催を見合わせておりましたが、今年度より気持ちを新たに計画いたしました。

美味しいお食事と懐かしいお話で大変盛り上がりあっという間の3時間でした。最後に閉会の辞を小板橋誠副会長より賜り、無事に終了いたしました。

会員支援委員会 委員長 佐野 修司



参加者の集合写真

